



サステナビリティ マネジメント

ジャトコのサステナビリティ



イントロダクション・目次	CEO メッセージ	ジャトコについて	サステナビリティマネジメント	環境	事業
社会	人的資本	事業基盤	データ	GRIスタンダード対照表	

ジャトコのサステナビリティ

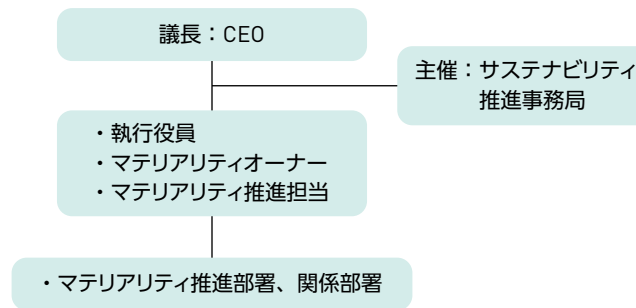
サステナビリティを価値創造の力に

「技術と情熱でモビリティの可能性を拓ける」というジャトコのパーパスには、モビリティは単なる移動手段ではなく、新たな出会いや経験を生み出し、一人ひとりの可能性を拓けるものであるという想いが込められています。私たちは、誰もが自由に移動できる社会の実現によって、人と人との交流が活性化し、新たな感動や価値が生まれることで、世界がより自由で豊かな場所になると信じています。ジャトコは、このような未来の実現を目指し、「技術と情熱でモビリティの可能性を拓ける」という強い想いを胸に事業を展開しています。

パーパスの策定と時期を同じくして、私たちはサステナビリティを企業活動の中核に据え、18のマテリアリティ（重要課題）を定め、その実現に向けた活動を推進してきました。それぞれの課題について目標とロードマップを設定し、進捗状況のモニタリングと情報開示を継続することで、サステナビリティを着実に経営と事業活動へ組み込んできています。

また、2026年度からはCEOを議長とするサステナビリティ委員会を設置しました。委員会では、経営層と各部門が連携してマテリアリティへの取り組み状況や課題を共有するとともに、事業戦略との整合や将来に向けた方向性について議論しています。サステナビリティを特定部門の活動ではなく経営そのものとして推進する体制を強化し、企業価値の向上と社会価値の創出を一体的に進めています。

サステナビリティ委員会 体制



私たちを取り巻く環境は、気候変動、資源制約、高齢化、地域社会の変化など、ますます複雑化しています。こうした環境変化の中で企業に求められるのは、社会課題への対応にとどまらず、その解決を通じて新たな価値を生み出すことです。私たちは、社会課題の解決と経済価値の創出は決して相反するものではなく、持続的な成長を実現するための両輪であると考えています。

その考え方を具現化する取り組みの一つが、新規事業の創出です。当社では、パーパスの実現と社会課題の解決、そして長年培ってきた技術や知見を起点として、新たな事業機会の探索を進めています。

特に、マテリアリティの一つである「移動の可能性を拓けるソリューション」では、高齢化の進展や地域交通の課題など、移動を取り巻くさまざまな社会課題に着目し、自動車領域にとど

まらない新たな挑戦を進めています。移乗機構付き車いすや電動アシスト自転車向け、電動バイク向けのドライブユニットなどの開発を通じて、人々の生活をより便利で豊かなものにするのと同時に、移動に関する社会課題の解決に貢献する新たな価値の創出を目指しています。

事業環境の変化が激しく、多様で複雑な課題に直面する時代だからこそ、私たちは深化と探索を止めることなく、社会課題の解決と企業成長の両立に挑戦し続けます。そして最終的には、サステナビリティという言葉を超えて捉えるのではなく、すべての従業員が日々の業務の中で自然に実践し、自ら価値を創造する企業文化を育んでいきたいと考えています。ジャトコはこれからも、技術と情熱を原動力に、人々の暮らし、社会、そして地球のより良い未来の実現に貢献してまいります。



企画・人事部門長 執行役員
坂上 尚

イントロダクション・目次	CEO メッセージ	ジャトコについて	サステナビリティマネジメント	環境	事業
社会	人的資本	事業基盤	データ	GRIスタンダード対照表	

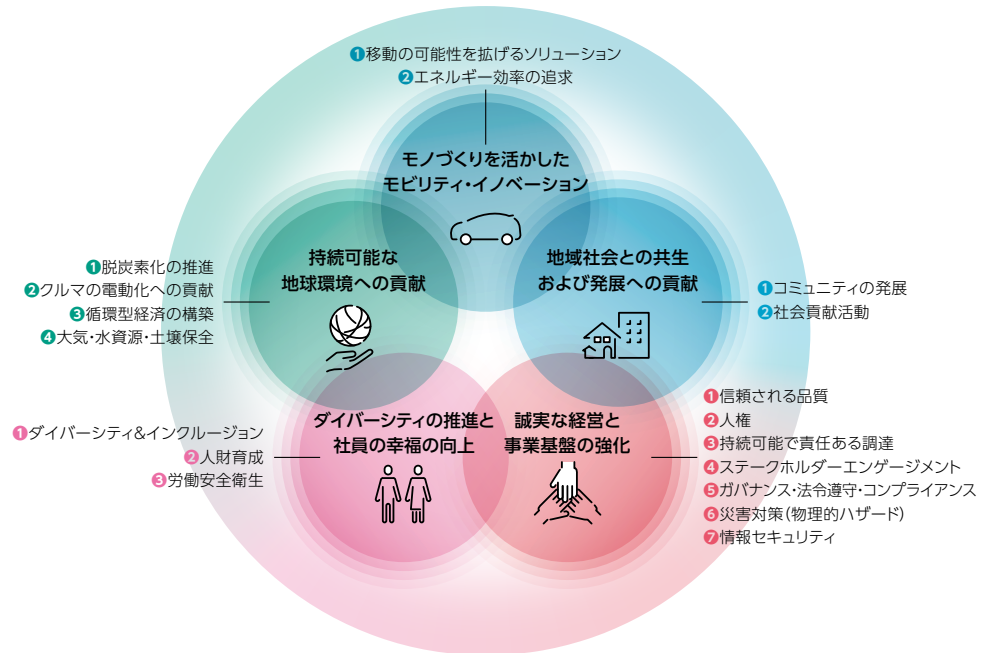
ジャトコのサステナビリティ

サステナビリティ基本方針

- 社会課題の解決**
 ジャトコは「技術と情熱でモビリティの可能性を拡げる」というパーパスのもと、サステナビリティを経営の中核と捉え、あらゆる事業活動やその他の活動を通じて経済の発展に貢献し、社会課題の解決に取り組めます。
- 独自価値の提供**
 ジャトコは、革新的技術で独自の価値を提供することにより、クリーン、安全で快適でワクワクするモビリティが創造する社会の発展に貢献します。
- 社会との対話**
 ジャトコは、お客さま、従業員、ビジネスパートナーのみなさま、地域社会等、全てのステークホルダーとコミュニケーションをとりながら、持続可能な社会の実現を目指します。
- 従業員の主体的な取り組み**
 ジャトコは、全ての従業員一人ひとりがサステナビリティを意識し、主体的に取り組むことによって、企業としてサステナビリティの活動を推進し、レベルアップを図っていきます。

マテリアリティ（重要課題）

ステークホルダーのみなさまの関心と当社の成長の方向性を合わせるため、ジャトコは当社が優先的に取り組むべきサステナビリティのマテリアリティ（重要課題）として、5分野18項目を特定しました。これらの重要課題については、経営会議でも論議を行い、事業活動に織り込んでいくことにより、確実に取り組みを進め、企業価値の創出につなげていきます。



重点課題特定プロセス

ジャトコのマテリアリティは以下のプロセスで特定しました。



イントロダクション・目次	CEO メッセージ	ジャトコについて	サステナビリティマネジメント	環境	事業
社会	人的資本	事業基盤	データ	GRIスタンダード対照表	

ジャトコのサステナビリティ

マテリアリティ（重要課題）と目指す姿

中長期的な企業価値創出に向けて、マテリアリティごとに目指す姿を設定しています。

マテリアリティ(重点課題)		目指す姿	SDGs
持続可能な地球環境への貢献	脱炭素化の推進	「ライフサイクル全体」「生産」「開発」「環境活動」の4つの領域の取り組みで、2030年までにCO2 46%削減(13年比)、2050年までにバリューチェーン全体でカーボンニュートラルを実現する。	 
	クルマの電動化への貢献	トランスミッションで培った技術を活かし、競争力があり電動車両の商品力向上に寄与する電動パワートレインを提供することで、脱炭素社会の実現に向けた電動車両の普及に貢献する。	 
	循環型経済の構築	地球環境保護と持続可能な社会への貢献を目指し、リペア/リユース/リビルト/リサイクルなど事業活動の様々なプロセスにおける効果的な資源循環の仕組みを構築することで、製品・サービスの新たな付加価値を、ステークホルダーに提供し続ける。	 
	大気・水資源・土壌保全	生産活動において投入される資源や、外部に放出される物質の管理を徹底し、省資源・環境負荷低減に取り組むことにより、環境へのインパクトゼロを目指す。	 
モノづくりを活かしたモビリティ・ソリューション	移動の可能性を広げるソリューション	革新的な独自の技術により、クリーン、安全、快適そしてワクワクする商品・サービス実現の可能性を追求し、モビリティへの新しい価値を提供する。	 
	エネルギー効率の追求	製品のエネルギー効率の向上や、車両全体のエネルギー効率改善に貢献する技術開発により、社会全体のCO2削減と環境負荷低減に貢献する。	 
地域社会との共生及び発展への貢献	コミュニティの発展	ジャトコの技術やアセットを活かし、地域の活性化や課題解決に積極的にかかわることで、地域と企業が共に発展できる社会を目指す。	 
	社会貢献活動	よき企業市民として、「環境」「社会」「福祉」を重点領域とする活動に従業員が積極的に参加することにより、社会課題の解決とよりよい社会の実現に貢献する。	 

マテリアリティ(重点課題)		目指す姿	SDGs
ダイバーシティの推進と社員の幸福の向上	ダイバーシティ&インクルージョン	従業員の多様な価値観と個性を尊重し、一人ひとりが活躍できる組織を実現し、そこから生まれる新しい発想で、お客さまと社会に新しい価値を提供する。そのために、女性や障がい者の活躍を促進する。	 
	人財育成	従業員は会社の「財産」であるとの考えに基づき、一人ひとりが、成長を実感できる働きがいのある職場を実現する。従業員にあらゆる成長の機会を継続的に提供し、従業員と会社が共に成長する。	 
	労働安全衛生	従業員が、安全、健康で生き生きと働ける職場環境を実現する。「安全絶対」で、災害火災のない職場づくり、安全に強い人づくりに、「健康経営」で、従業員のフィジカルとメンタルの健康の継続的な改善に取り組む。	
誠実な経営と事業基盤の強化	信頼される品質	お客さまの期待に応える製品品質と品質マネジメントを実現し、お客さまの信頼を獲得する。社員一人ひとりが高い品質意識を持ち、全社課題として取り組む。	 
	人権	人権尊重を事業活動の基盤と認識し、社会に信頼される企業として全てのステークホルダーの人権を尊重し、適用される法令・基準を遵守する。全従業員がこの認識を共有し、最高の倫理基準に基づいて行動する。	 
	持続可能で責任ある調達	ビジネスパートナーとの相互信頼を構築し、お互いの持続的な成長を目指す。サプライチェーンでの環境、社会に配慮したビジネスや、安定した部品・材料供給に向けた取り組みを実践する。	 
	ステークホルダーエンゲージメント	主要ステークホルダーの関心事について積極的に対話を行い信頼関係を構築する。ステークホルダーの声を企業活動に反映することで、持続的な企業の成長と社会の発展を実現する。	
	ガバナンス・法令順守・コンプライアンス	企業理念や行動規程の浸透、「内部統制システムの基本方針」に基づく内部統制の維持・強化により、規律ある透明性の高い事業運営を行う。常に状況をモニターし課題に対応すると共に、定期的に従業員の教育を実施する。	
	災害対策(物理的ハザード)	企業活動の根幹を揺るがす様々なリスクを想定し、事業継続のための体制を構築する。定期的な訓練を実施し、継続的な課題解決を実施する。	
	情報セキュリティ	経営層から現場まで、セキュリティ規程を周知徹底する。情報資産の特定とリスク評価、最新の予防的セキュリティ対策の実装により、全従業員が責任感をもって、情報資産流出などのリスクに対応する。	

イントロダクション・目次	CEOメッセージ	ジャトコについて	サステナビリティマネジメント	環境	事業
社会	人的資本	事業基盤	データ	GRIスタンダード対照表	

ジャトコのサステナビリティ

社外からの評価・第三者認証

社外からの評価

 <p>EcoVadis 国際的なサステナビリティ評価 2026年3月「COMMITTED」 バッジ評価取得</p>	 <p>プラチナくるみん 2015年より連続認定</p>	 <p>健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 大規模法人部門 ホワイト500 2019年より上位500社連続認定 ※3年連続で最上位 グループの「1-50位」</p>	 <p>スポーツエールカンパニー 2021年より5回目の認定</p>	 <p>自転車通勤推進企業 宣言プロジェクト 2025年に認定取得</p>	<p>マネジメントシステムに関する第三者認証</p> <p>環境マネジメントシステム 国内外の生産拠点において、環境マネジメントシステムの最新規格である「ISO14001：2015版」の認証を取得しています</p> <p>品質マネジメントシステム 国内外の生産拠点において、自動車産業向け品質マネジメントシステム「IATF16949」の認証を取得しています</p>
--	--	---	--	---	---

SDGs達成に向けた貢献

2015年9月の「国連持続可能な開発サミット」において「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。ジャトコは世界共通の目標であるSDGsを支持し、その目標達成に貢献してまいります。2022年4月には、本社を構える静岡県富士市が掲げる「SDGs未来都市行動宣言」に登録するなど、SDGs未来都市「富士市」の実現に向けて行動しています。本レポートでは、SDGsとのつながりを示すため、関連する取り組みを記載したページにSDGsの各アイコンを掲載しています。



富士山とともに 輝く未来を拓くまち
SDGs 未来都市 富士市

